

はじめの一步ワークショップ企画案

～忙しくてもできる！地域で「やってみたい」をはじめませんか～

活動促進部会 南山

※前回との変更点は下部二重線

		留意事項／検討課題
目的	これまで市民活動をしていない人が「はじめの一步」を踏み出すことを後押しする	<ul style="list-style-type: none"> ・ハードルを下げる ・「市民活動」という言葉を使わない？ →タイトル要検討
対象	身近な地域で何かを始めてみたいと思っている 30～ <u>50</u> 代の市民	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分にもできそう」「やってみたい」と思える内容にする。 ・堅苦しい言葉はなるべく使わず、自分たちの暮らしの周りにある身近なことと思えるようなWSを目指す ・ターゲットにしている世代に届くタイトル、チラシが肝 ・シニア世代やすでに活動をしている人の需要に応える企画は別途用意できればベスト
開催形式	2時間のワークショップ×3回	<ul style="list-style-type: none"> ・連続講座？単発参加OK？（※）
内容		各回とも参加者同士がアウトプット、交流する時間を取る →①満足度②学びの深まり③横のつながり
① 4/20(日)	実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・初回の目的は、実際にやっている人の話を聞いて「自分にもできそうだ」と思ってもらうこと ・話を聞く→グループで感想共有
② 5/18(日)	活動を始めるにあたって多くの人が気になる Howto を実際に活動をして数年の人に聞く <u>※幅広い分野の活動を紹介できるのが理想だが、対象者に近い年齢層、活動分野を考慮してバランスを取る。</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に何をしたか ・何を使ってどんな風に広報したか ・仲間をどうやって集めたか ・実際にやってみて困ったことは？ ・<u>自分で立ち上げたい人、すでにある活動に参画したい人、どちらも想定。地域活動に共感してもらうことが目的なので、参加の方法は問わない。</u> ・<u>多様なロールモデルを紹介することで参加できる人の裾野を広げる。</u>

② 6/8(日)	「はじめてみたい」発表会	・前回までの内容をふまえて「わたしもこれならできそう」「こんなことがしてみたい」を発表してもらおう→参加者がフィードバック
-------------	--------------	---

(※連続講座／単発講座の比較)

	連続	単発
メリット	・内容が深められる ・参加者同士のつながり	・参加のハードルが下がる ・
デメリット	・参加のハードルが上がる	・内容が深まらない

場所	市民活動サポートセンター	
スケジュール	12-1月 企画立案、講師依頼 2月 詳細検討、広報物作成 3/15 広報ふなばしで告知、参加者募集 4/18 WS①実施、振り返り→次回へ向けて 5/18 WS②実施、振り返り→次回へ向けて 6/8 はじめてみたい発表会	
広報	広報ふなばし、市内公民館、児童ホーム、子育て支援センター、図書館	
用意するもの	筆記具 模造紙 付箋	